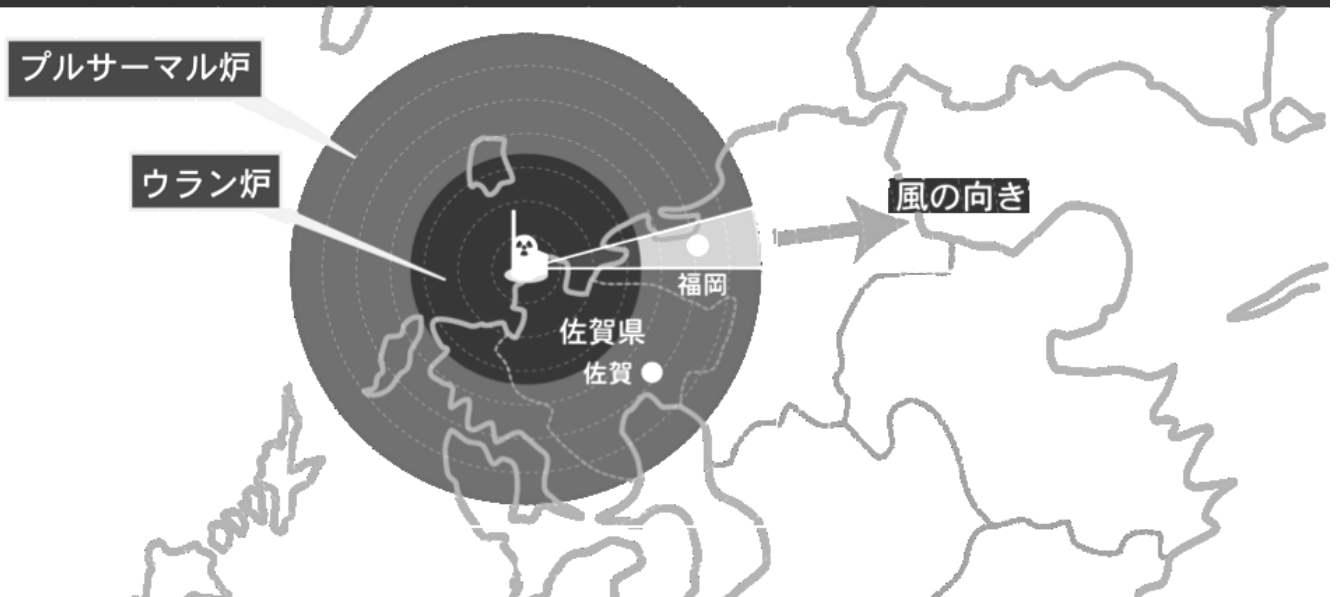


玄海原発・プルサーマル

大事故による被害範囲の拡大 (半数致死線量 (全身3シーベルト) 範囲の広がり)



図は、玄海原子力発電所で事故が起こった場合の被害の広がり範囲を示しています。

2009 年末、九州電力は世界に先駆けて、「狂気」に満ちたプルサーマル計画を実施に移しました。

使用済みのウラン燃料を再処理して、わずか 1%のプルトニウムを取り出し、ウランと混ぜて作った MOX 燃料。その粗悪な燃料は、不純物がいっぱい、何時、壊れるかわからない不安を抱えています。

ひとたび、大きな事故が起こりますと、通常のウラン燃料と比べ、被害の範囲が拡大します。

原子力発電所の実態は「放射能発電所」です。原子核が崩壊するとき、放射線と熱を出します。その熱の 1/3 だけを電気として利用し、残り 2/3 の膨大な熱は海に捨てています。

一方、放射能はさまざまな工夫で外に出ないようにしていますが、それでも、確実に毎日、放射線を出す物質「放射性物質」を排出し続けています。

放射能は現在の最新の科学を持って、完全に封じ込めたり、除去することはできないのです。

放射能は私たちの「命」を奪うものです。

放射線は私たちの大切な遺伝子を破壊します。そして、次の命を確実に奪っていきます。

放射能は新たな放射能を生みだします。放射能の連鎖です。

そして、何千年、何万年と放射線を出し続け、私たちの未来の命までも奪い続けます。

原子力・放射能に頼らない社会、それは実現可能なのです。私たちの手に未来はあるのです。

プルトニウムという文字通り「魔王の物質」が佐賀県玄海町でまさに今、暴れ出そうとしています。放射能を帯びた放射性物質は、私たち五感では感じ取ることができません。しかし、原子力発電所からは毎日、確実に放射性物質が漏れ出しています。そして、私たちの体内に蓄積され、免疫系を破壊し、ガン細胞を生みだします。

私たちの未来を脅かす「放射能」。一刻も早く、危険なプルサーマルを止めましょう。

今、プルサーマルの中止を求めて活動しています。明日の未来のため、今、行動を起こしましょう。

危険なプルサーマルをとめよう！！

原子力のリサイクルはウソ！ 放射能のゴミを増やすだけのプルサーマル

「地球温暖化防止のため」とか「エネルギー資源の少ない日本だから」とか、
そんな言い訳をして
何百万年（！）も先までの迷惑になる放射能のゴミ、もうこれ以上、増やすのはやめましょう

燃やしたあと 500 年間も動かさない・・・そんなゴミができてしまいます

プルトニウムを核分裂させると、ウランとは比較にならないほど高レベルの放射能を帯びた
「使用済み燃料」ができます
あまりに危険なため500年間という長い期間、動かすことさえ出来ないのです
(国の原子力安全委員会)

ウラン専用の原子力発電所でプルトニウムを燃やすのは、非常に危険

たとえば言えば、灯油を使うストーブにガソリンを入れるようなもの
「消火器があるから大丈夫」と、あなたはガソリンをストーブに入れるでしょうか？

プルトニウムをウラン専用の原発で燃やすことの安全性は確保されていません

国の原子力委員会もプルトニウムが中性子を吸収しやすいので、
「制御棒の効きは悪くなる」と認めています
プルトニウムをウラン専用の原発で燃やすということは、設計時の安全余裕が減少します

もし事故があった場合、福岡市の半数の方が亡くなるといわれています

九電がすすめるプルサーマル発電、事故がおこった場合
福岡市は玄海原発から50kmしか離れていません
脊振山系の北側に位置する福岡市は、
最大の被災者数が出るのが予測されます

あきらめることなく、
1人ひとりが希望と勇気をもって
行動しましょう

玄海原発プルサーマル裁判の会